

## 本組合全体及び所属における環境目標の達成状況（令和3年度）

基本方針	共通目標項目（全所属）	単年度目標	達成程度
循環型社会、脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	18,142,906kWh 以下とする	(目標) 18,142,906kWh (実績) 17,818,165kWh (△324,741kWh) (達成状況) ○
	灯油使用量の削減	379,602.7ℓ 以下とする	(目標) 379,602.7ℓ (実績) 322,226.1ℓ (△57,376.6ℓ) (達成状況) ○
	ガソリン使用量の削減	4,981ℓ 以下とする	(目標) 4,981ℓ (実績) 4,907.82ℓ (△73.21ℓ) (達成状況) ○
	軽油使用量の削減	47,682.8ℓ 以下とする	(目標) 47,682.8ℓ (実績) 48,303.9ℓ (+621.1ℓ) (達成状況) × 概ね昨年ベースの結果であったものの、ごみ中継施設更新に伴う残渣の運搬及び処理等のため、臨時的な使用量増が発生した。
	OA用紙の使用量の削減	1,127枚以下とする	(目標) 1,127枚 (実績) 1,127枚 (±0枚) (達成状況) ○
	ごみ排出量の削減	可燃ごみを 958.1kg 以下とする 不燃ごみを 109.5kg 以下とする	可燃ごみ (目標) 958.1kg (実績) 1,062.5kg (+104.4kg) (達成状況) × 新型コロナウイルス対策等により、排出量が増加したものと考えられる。  不燃ごみ (目標) 109.5kg (実績) 59.3kg (△50.2kg) (達成状況) ○
	グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率 95%以上の品目数の割合を向上させる。	81%以上とする	(目標) 81%以上 (実績) 79.17% (△1.83%) (達成状況) × 購入推進に努めたが、目標達成には至らなかった。

基本方針	所属目標	担当所属	達成程度
安心安全な施設運営	職員の意識向上のための研修を適宜実施する	安全推進室	(目標) 適宜実施 (実績) 30回 (達成状況) ○
	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の28ppm(1時間平均値)超過回数を10回以内とする	クリーンパーク折居	(目標) 10回以内 (実績) 16回 (+6回) (達成状況) × 炉の計画停止期間が長かったこと等による。

	最終処分量（焼却灰及び飛灰処理物）の発生率を9.72%以下とする	クリーンパーク折居	（目標）9.72%以下 （実績）10.17%（+0.45%） （達成状況）× 水分による発生率の増加等による。
	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の29ppm（1時間平均値）超過回数を16回以内とする	クリーン 21 長谷山	（目標）16回以内 （実績）11回（△5回） （達成状況）○
	焼却灰中の燃え残り含有量を表す値である熱しゃく減量について3%を超過する回数を年間2回以内とする	クリーン 21 長谷山	（目標）2回以内 （実績）0回（△2回） （達成状況）○
	埋立に使用する覆土の使用量を埋立廃棄物の量に対して2割を上限とする	グリーンヒル三郷山	（目標）20%以下 （実績）22.67%（+2.67%） （達成状況）× 飛散防止及び埋立地表面の整形の際に覆土の使用量が増加している。
	充電池等により発生した小火回数を令和2年度比較割合（350回/年）以下とする	リサイクルセンター 長谷山	（目標）350回以下 （実績）447回（+97回） （達成状況）× 広報紙等で啓発活動を行っているものの、発生回数は増加傾向にある。
循環型社会、脱炭素社会の構築を目指した一般的な取組の推進	Web会議の実施回数を令和2年度（12回）以上とする	総務課	（目標）12回以上 （実績）21回以上（+9回） （達成状況）○
	年次有給休暇取得日数を平均16日以上とする	総務課	（目標）16日以上 （実績）12.13日（△3.87日） （達成状況）× 取得に努めたが、目標達成には至らなかった。
	EV車導入基本計画を今年度までに作成し、今後のEV車購入の指針とする	会計課	（目標）EV車導入基本計画の作成 （実績）エコカー導入方針の作成 EV車の導入（1台） （達成状況）○
	し尿収集世帯実態調査を実施し、し尿収集世帯の不利益防止と公衆衛生の保全を図る	業務課	（目標）調査の実施 （実績）調査の実施及び結果報告 （達成状況）○
	4台の中継車の平均燃費を令和2年度の換算燃費実績に対して維持・向上する	施設課 （沢中継場）	（目標）2,895 km/ℓ （実績）2,764 km/ℓ（△131 km/ℓ） （達成状況）× 車両の老朽化や給油方法・給油時期の変更により、常に燃料タンクに多い軽油が入った状態での走行等が影響したものと考えられる。
	水資源（井水）の使用量低減（下水道排水に使用する井戸水の水量を年間318,346m <sup>3</sup> 以下にする）	施設課 （クリーンピア沢）	（目標）318,346m <sup>3</sup> （実績）326,954.3 m <sup>3</sup> （+8,608.3 m <sup>3</sup> ） （達成状況）× し尿等の搬入量の増加による。

年間売電量を焼却量 1t あたり、1 炉時では 123kWh 以上、2 炉時では 270kWh 以上とする	クリーンパーク折居		<p>(目標) 1 炉時 : 123kWh 2 炉時 : 270kWh (実績) 1 炉時 : 117kWh (<math>\Delta 6\text{kWh}</math>) 2 炉時 : 272kWh (<math>+2\text{kWh}</math>)</p> <p>(達成状況) × 共通停止期間等の停止期間の増加による。</p>
事業系一般廃棄物の展開検査において排出者指導及び搬入責任者指導の割合を 20%以下とする	クリーン 21 長谷山		<p>(目標) 20%以下 (実績) 14.49% (<math>\Delta 5.51\%</math>) (達成状況) ○</p>
分析調査における不適物混入割合を令和 2 年度の不適物混入割合 (27.27%) 以下とする	リサイクルセンター 長谷山		<p>(目標) 27.27%以下 (実績) 24.56% (<math>\Delta 2.71\%</math>) (達成状況) ○</p>
ペットボトルの展開検査を実施し、不適物混入割合の減少に向けた取組を行う	エコ・ポート長谷山		<p>(目標) 展開検査の実施 不適物混入割合の減少に向けた取組の実施 (実績) 展開検査 2 回 BtoB 事業を契機とした 様々な媒体での分別啓発の実施 (達成状況) ○</p>
体験学習と施設見学を組み合わせたイベントを開催し、年間平均で参加率 80%以上とする	エコ・ポート長谷山		<p>(目標) 80%以上 (実績) 100% (達成状況) ○</p>